

まちづくり座談会（野洲駅南口周辺にほしいもん）結果報告について

1. 開催日時等

平成24年 5 月20日（日） 午前10時00分～12時

於：市民活動支援センターホール

2. 参加者

<一般>

23名

<行政>

山仲市長 富田政策調整部長 橋都市建設部長 川端地域戦略室長 他 4 名

3. 市長挨拶

本日は、お集まりいただきありがとうございます。この座談会では、野洲駅南口周辺のまちづくりについてご意見をお願いします。

民間所有地をまちづくりに役立てる前提で購入しました。駅前問題はまち全体の問題で、野洲駅は市民も通勤者も利用する重要な場所です。駅前を活用することでまち全体が元気になります。また、安心につながる要素を持っていると思います。しかし、駅前に特化することではなく、一地域の話ではなく、まち全体の話として考えています。

具体的な内容は決まっていないので、市民の皆さんがどうしたいのかを議論する中で進めていきます。様々な制約条件がありますが、その中で市民にとって一番良い形で、活きた利用をし、まち全体が良くなるように進めます。

財政的な課題もありますが、いい意味でできるだけ早く進めたいと考えています。今回はキックオフミーティングとしての位置付けで、本日の意見等は今後の議論の展開にいかしていきます。

徹底的な透明性とビジネス感覚も持って議論を進め、実現していきます。この場が実りのある場となることをお願いして、挨拶とさせていただきます。

4. 説明事項概要

1) テーマ

市民の皆さんが求める駅前の機能

2) 検討の流れ

整備構想→基本計画→実施計画→施設整備

↑
平成24年度末を目処にとりまとめ

3) 整備構想検討の対象地（案）

- ・野洲駅南口周辺の市有地
- ・おうみ富士農業協同組合所有地

} 合計 約35,000㎡

4) 整備構想検討におけるコンセプト

①総合計画におけるめざすべき都市像

豊かな自然と歴史に恵まれた にぎわいとやすらぎのあるまち
～みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり～

②総合計画における野洲駅南口周辺の整備方針

にぎわいと活力にあふれた地域

③整備構想検討におけるキーワード

成長する駅前

↑
構成資源（人・モノ・財源・情報・時間・生活）

5) 野洲駅南口周辺への取り組み

- ①機能選別とゾーニングによる整備構想検討
- ②これまでの市の提案
市民活動拠点（ホール、公園・緑地、図書館分館等）
- ③これまでの市民からの意見
保育園、図書館分室、公園・緑地、商業施設等
- ④市内の大規模施設状況

実現性と**持続性**

市民の皆さんが本当に必要とするサービスのあり方とは???

5. ディスカッション概要

1) 質問

- ①人の集積を狙う駅前整備の中で、安全・安心・防災への考えは。
→防災拠点は、辻町での整備を進めている。また、安全安心の確保のために南口駅前ロータリー整備を進めている。
- ②アサヒビール所有地の購入の際に提案のあった、文化ホール建替え等の案の位置付けは。
→選択肢の一つであり、より柔軟性を持たせるために、購入した土地を含め周辺の市有地も対象地とした。
- ③対象地に含まれているJ Aおうみ富士の意向は。
→構想を検討するエリアに含めることは協議中である。売買など市との間で体的に決まっている事項はない。
- ④南口駅前ロータリー整備との整合性は。
→手戻りがないように調整しながら進めていく。
- ⑤このエリアに市が病院を整備するのか。
→市が病院を整備するかは決まっていない。可能性の検討で、立地場所については郊外でなく、駅周辺が有利であり、対象地を候補地の一つとしている。
- ⑥公募委員が2名となっているが、全体人数からすると少ないのでは。
→検討委員会は公開で開催し、傍聴者からも意見をいただく機会を設ける。

2) 意見（ほしいもん）

（具体的意見）	観光案内所、物産品販売コーナー、簡易宿泊施設、飲食店、生涯学習のための教育施設環境について学習・体験できる施設、潤いを感じられる緑地、憩える公園 老朽化した発達支援センターの移転先、緑化等で見え方を工夫した駐車場 市内を眺望できる空間（高層化）、常設展示可能な美術館的空間、図書館分館
（概念的意見）	コンパクトシティを実現し、駅前で多くのサービスを享受可能にさせる。 野洲の良さが出る駅前整備。駅周辺の整備と駅舎自体のマッチング。駅に直結する機能。 都市拠点の空間形成、土地利用の機能向上。機能集積した施設整備。 子育て支援をアピールできる空間。全ての集積は不可能で、駅を中心とした機能設定。



駅前という特性に応じて効果的な機能を配置し、市民の満足度を高める整備を実現させる必要がある。